

7/20
(水)

令和4年度戦没者追悼式 平和な日々感謝



戦没者に献花する参列者

7月20日、令和4年度長島町戦没者追悼式が町文化ホールで執り行われました。

式には、遺族のほか、町関係者など約40人が参列し、戦没者に対して黙とうが行なわれました。

追悼のことばでは、終戦から77年が経過し、戦争によってもたらされた悲しみと苦しみを忘れてはならないと述べられ、献花台に花が手向けられました。

遺族会会長の濱畑順一さん(小浜)は「多くのかたがたが命を落とした事実は語り継いでいかなければならない。平和な日々感謝することが私たちの務めだ」と語りました。

7/22
(金)

「若い経営者の主張」県代表 島の架け橋のような存在へ

7月16日、SSプラザせんだい(薩摩川内市)で第47回「若い経営者の主張」大会が開かれ、長島町



川添町長に結果報告をした山下さん(写真右から2人目)

商工会の山下城さん(幣串)が優勝し、鹿児島県代表として九州大会への出場権を得ました。

この大会は、鹿児島県商工会連合会と同会青年部や県下市町村商工会青年部が主催で、それぞれの活動を発表し、若手経営者や後継者としての資質向上を図り、地域活性化につなげることを目的に、3年ぶりに行われました。

山下さんは町内唯一の離島・獅子島で、人脈を通して得た体験を述べ、「つなぐ」ことの大切さを主張しました。

山下さんは「自分自身の事業を通じて、獅子島の架け橋のような存在になれたら」と語りました。

7/24
(日)

わくわくどきどき科学教室in長島 さまざまな科学に触れて

7月23日と24日の2日間、町開発総合センターと町文化ホールで「わくわくどきどき科学教室in長島」が3年ぶりに開催されました。

これは子どもたちが長島町の自然の素晴らしさに触れるとともに、身近な科学体験をすることで、科学に対する興味や関心を高めることを目的に行われました。

当日は子どもたちがたくさん訪れ、シャボン玉の中に入ったり、LEDキーホルダーを作ったりとさまざまな科学に触れていました。

大きなシャボン玉の輪に包まれた参加者



小崎天志くん(平尾小3年)は「はじめての参加だったけど、いろんな体験ができて楽しかった」と話しました。